

令和8年度 横浜緑園高等学校 第1回学校運営協議会 記録

日時：令和8年6月5日（金）
14時00分～16時00分
場所：本校 会議室
司会 副校長
記録 広報・授業研究 G

1 校長挨拶

人権教育研究指定校として、昨年の取り組みを活かしつつ、ブラッシュアップして今年度取り組んでいく。

学校教育目標達成に向けて取り組んでいく。

2 学校運営協議会の開会にあたって

（1）学校運営協議会委員の委嘱

川田校長より新委員に委嘱状が交付された

（2）学校運営協議会委員及び事務局の紹介

大河原副校長より委員の方の紹介があり、委員の方よりご挨拶を頂いた。

上原委員 高山委員 前田委員 時乗委員 谷委員 萩原委員

大河原副校長より事務局（学校職員）の方の紹介が行なわれ、それぞれ自己紹介した。

（3）学校運営協議会について

大河原副校長より説明。運営企画書により設置部会、年間計画等の説明。

（4）会長及び副会長の選出

会長を時乗様、副会長を川田校長として選出。

3 協議

時乗会長の進行により、次第の内容に従い協議を実施。

(1) 学校評価部会及び学校設置部会について

地域連携部会、教育交流部会の設置

(2) 神奈川県立横浜緑園高等学校の教育活動等について（報告）

令和8年度学校諸活動について（各 GL より）

教務 GL 松村より報告が行われた。

生徒の学習ニーズに対応する学びの保証。成績処理業務における事故防止。

広報・授業研究 GL 佐々木より報告が行われた。

今年度研究テーマ AI を活用した、人権課題に主体的に取り組む態度を育成する授業づくり

進路・キャリア支援 GL 小島より報告が行われた。

本年度キャリア支援の取り組み。

生活支援 GL 増田より報告が行われた。

生徒の安心・安全 継続的な教育相談 生徒会と連携してジャージ着用のルールについて議論

生徒活動推進 GL 瀬田より報告が行われた。

学校行事等で協働する態度の育成。部活動の活性化。三ツ境支援学校分教室の生徒との交流。

総務 GL 青木より報告が行われた。

PTA との連携、分教室との交流、防災関連について取り組む。

学校運営協議会委員からのご意見

○上原委員

「教育相談において積極的アプローチは興味深い。コロナ期の生徒が就職する時期で、コミュニケーションがうまく取れない人が増えてきていると感じる。リーダーシップ教育に期待している。」

○高山委員

「AI を使って記述式のアンケートを取ると生徒一人ひとりの特徴を捉えられる。」

○前田委員

「働き方改革において、労働時間を削ることと教員の魅力との兼ね合いが大事」

○時乗委員

「制服の下ジャージについては、学校の中だけではなく地域の方がどう思っているのかを生徒に感じ取ってもらえるようにしていくべき。」

○谷委員

「AI の利用においてルールの再確認が重要である。」

○萩原委員

「地域行事を中心に学校外の方たちと関係を築いていくことはとても大事なことになるので、これからも続けてほしい。」

4 意見交換

○谷委員

「リーダーシップ教育はとても良い取り組み。実になるようにチャレンジしてほしい。」

○萩原委員

「学校の教育方針が素晴らしい。計画通りにいけば大学受験に繋がるので頑張ってもらいたい。」

○上原委員

「リーダーシップ教育は今の社会では必須能力のひとつ。頑張ってもらいたい。」

○高山委員

「多角的な視点で目標設定されている。部活動を通して何を学んだかが重要になってくると思う。」

○前田委員

「生徒の実態に合わせた活動がなされていて、結果的に学校が落ち着いてきているように見える。」

5 その他

第2回学校運営協議会 10月3日（土）

6 閉会

大河原副校長より本協議会の閉会が告げられた。

